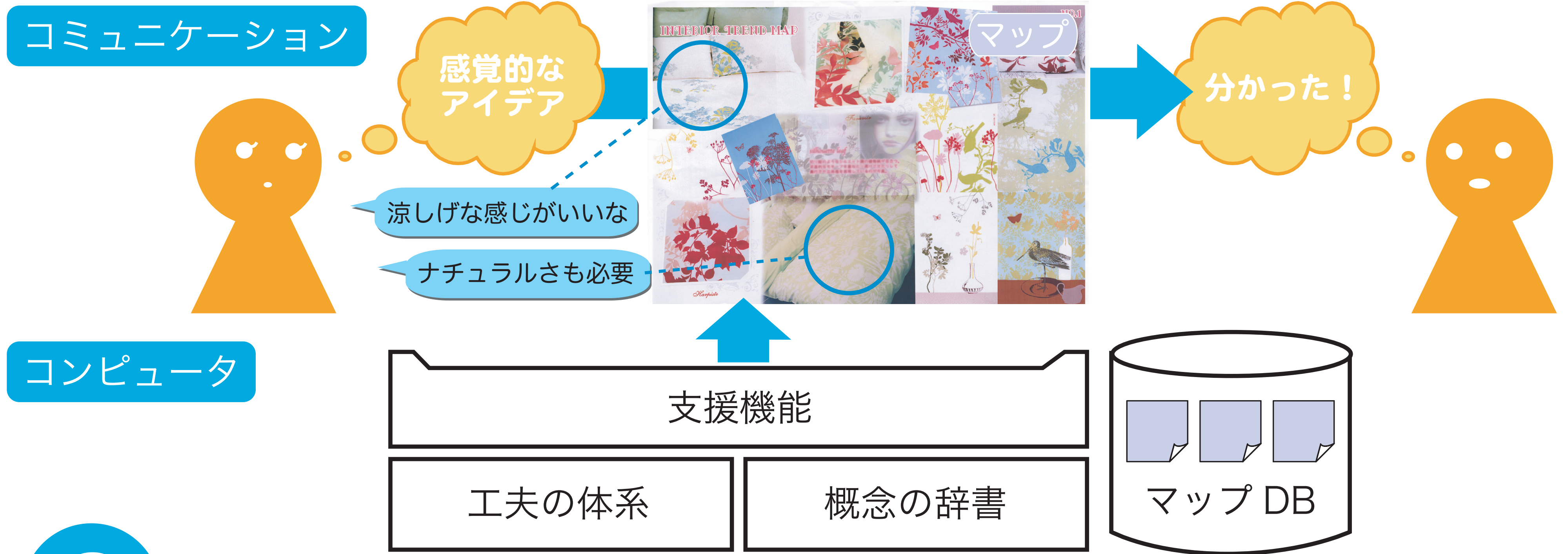


心の中にある感覚的なアイデアの共有を支援するには？

小川泰右 (t-ogawa@jaist.ac.jp)

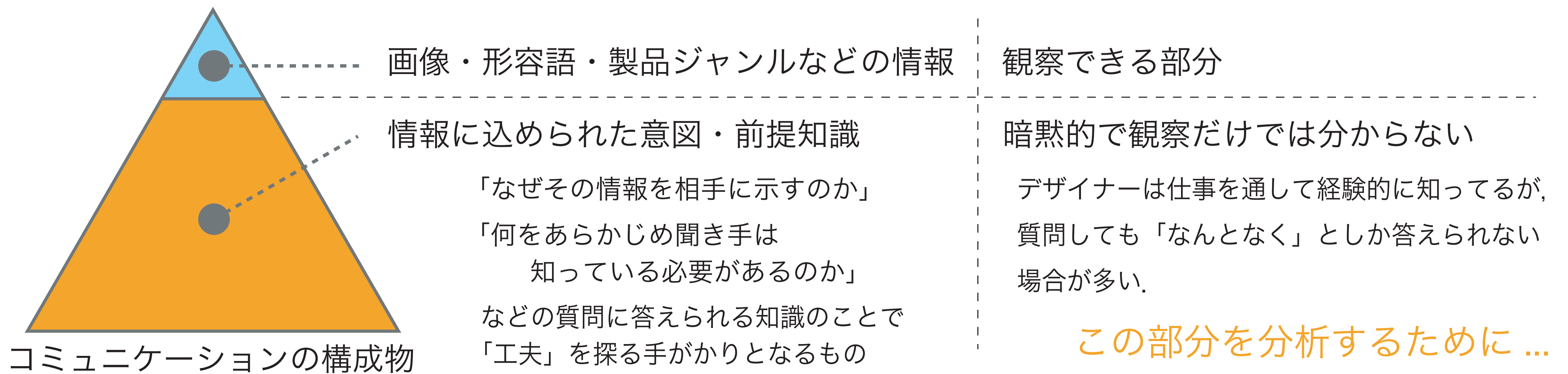
知識システム構築論講座 池田研究室

デザイナーは新製品についてひらめいたアイデアを、「マップ」を使ってデザイン仲間と共有している。この時デザイナーが最も伝えたいのは、具体的な色や形よりも新製品についての感覚的なアイデアである。このコミュニケーションをより円滑にするために、それを支えるデザイナーの「工夫」を探り、コミュニケーション支援機能としてコンピュータ上で実現したい。



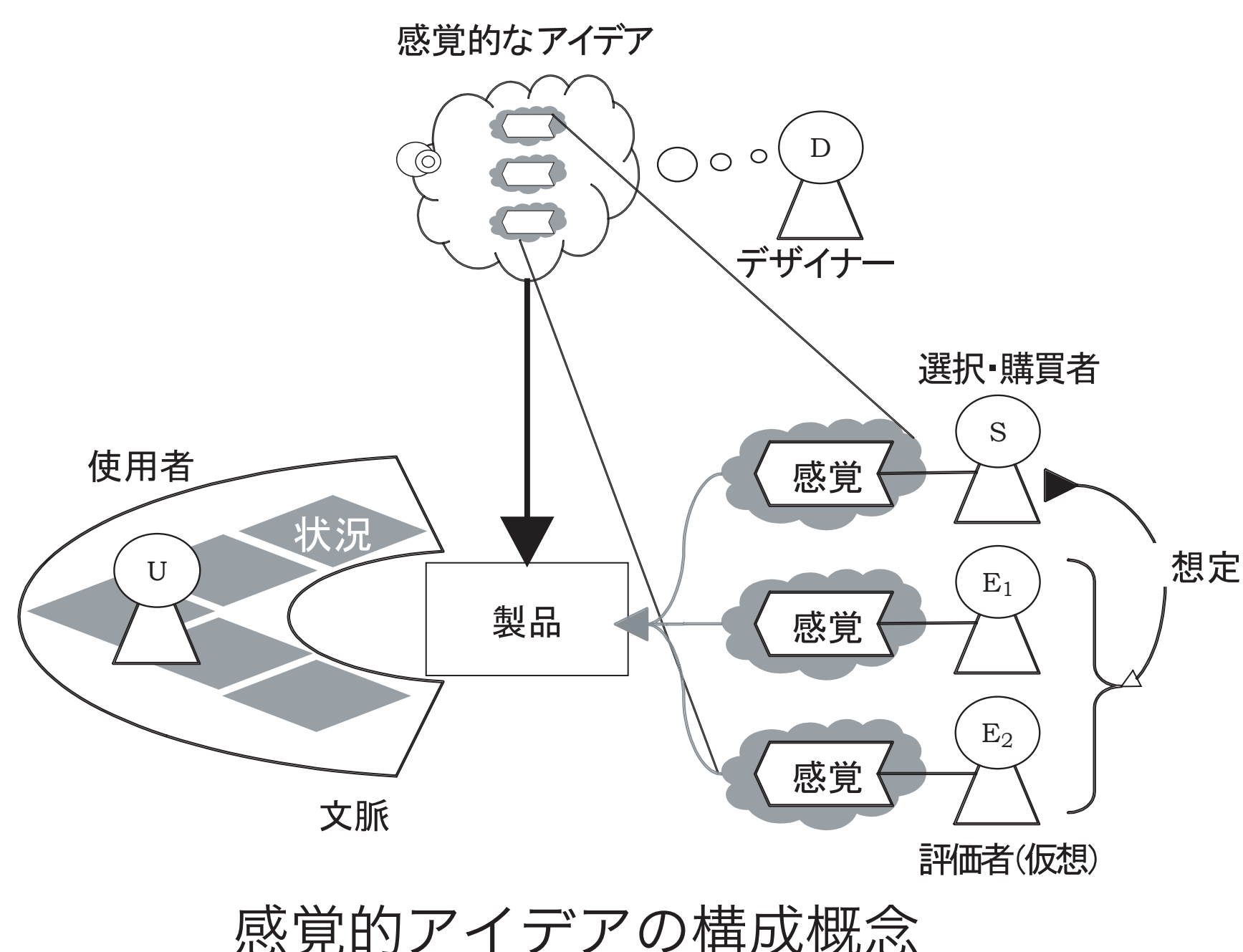
?

コミュニケーションを観察した限りでは「画像を形容しているだけ」にしか見えないが、デザイナーが相手に意図した感覚を伝えるためのコミュニケーション上の「工夫」を探るにはどうしたらいいのだろうか？



オントロジー工学的アプローチ

物事や行為などを構成している「概念」を図式化することで、その本質に迫る



図は「感覚的なアイデア」を構成する概念を示しています。このような図式（実際にはより厳密な形式で書きます）を用いて、対象を構成する概念を整理し定義づけていきます。この図からは、「デザイナーは自らの好みとしてアイデアを考えているわけではなく、“使用者”や“状況”など製品を取り囲む“文脈”を想定した上で“製品”を買う人が、どんな“感覚”を製品から受け取ることを望むかをアイデアとして思い描いている」ことが読み取れます。

コミュニケーション支援システムには、このような製品を取り囲む人や状況を、デザイナーが共有することを助けるための機能が必要なのではないかという知見が構成概念について分析することから得られます。そして、知見にもとづき工学的なサポートについて検討を行います。